

## 小笠原諸島世界自然遺産候補地推薦書叩き台〔概要〕

1.	推薦地の概要
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国名、地域名、遺産名、緯度経度など推薦地に関する基本的な情報を記載。</li> <li>・ 推薦地の境界を示す図面を添付する。</li> </ul> <p><b>ポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 顕著な普遍的価値を有し、完全性の条件を満たし、適切な保護担保措置が施されている地域を、推薦地とする。</li> <li>・ 父島列島、母島列島、鷺島列島、南・北硫黄島、西之島の陸域（父、母は一部）と一部の海域を、推薦地とする。</li> <li>・ 推薦地の内外を問わず総合的・広域的な管理をおこなうため、推薦地内に管理区分を設けず、推薦地外にバッファゾーンは設けない。</li> </ul>
2.	推薦地の説明
a	遺産の説明
	<p>顕著な普遍的価値を含む、小笠原の推薦地の自然的な特徴と価値を記載。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地形・地質：小笠原諸島の発達史について、海洋プレートの沈み込みに始まる一連の火山活動の時期ごとに説明。その結果生じる地質について列島ごとに説明。</li> <li>・ 気候：亜熱帯気候で季節的に極度の乾燥状態となる特徴を説明。局所的な気候条件として雲霧帯について説明。</li> <li>・ 植物：多様な起源を持つ植物相であること、固有種の割合が高い乾性低木林や湿性高木林について、適応放散・雌雄性分化・草本の木本化・共進化など海洋島独自の進化について説明。</li> <li>・ 動物：オガサワラオオコウモリ、メグロ・コアホウドリなど鳥類、オガサワラトカゲなどは虫類、陸産貝類、昆虫類など海洋島の特徴である不調和な生物相について説明。その他、鯨類、ウミガメ、魚類、サンゴなどについて説明。</li> </ul> 
b	歴史と開発
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦前：小笠原諸島の発見と移住。日本領土としての承認。亜熱帯農業や漁業の隆盛。</li> <li>・ 戦後：日本への返還と復興。小笠原国立公園等の指定。</li> <li>・ 人間との関わり：農業、漁業、観光</li> </ul>
3.	価値の証明
a	該当するクライテリア
	<p><b>（地球の歴史）</b> 地球上における大陸形成過程の最初の部分である海洋性島弧の進化過程を、海洋プレートの沈み込み開始から島弧の確立に至るまで、一連の火成活動の変遷とマグマ組成の変化が記録された岩石や地形から観察することができる。</p> <p><b>（生態学的なプロセス）</b> 隔離され、限られた面積の中で起きた独自の種分化により多くの固有種が見られ、特に植物や昆虫類、陸産貝類においては進行中の進化の過程を見ることができる。</p> <p><b>（生物多様性）</b> 推薦地は小さな海洋島でありながら種の多様性に富み、世界的に重要とされる絶滅のおそれのある種の生育・生息地であり、太平洋中央海洋域における生物多様性の保全のために不可欠な地域である。</p> 
b	顕著で普遍的な価値
	<p>推薦地は、地球と生物の進化に関する貴重な情報を提供する重要な地域であり、顕著な普遍的価値をもつことを説明。海洋性島弧の発達過程を追うことのできる地球上唯一の場所である小さな島でありながら独自の適応放散や種分化により数多くの固有種を生み出し、特異な島嶼生態系を形成している</p>
c	比較解析（保全状況を含む）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海洋性島弧の形成過程 伊豆 - 小笠原 - マリアナ弧内の比較、その他の海洋プレートの沈み込み帯の島弧との比較、地殻変動の価値を持つ遺産地域であるマッコリー島との比較</li> <li>・ 海洋島の特徴を維持し、生物進化の過程を示すこと Udvardy の島嶼複合系に属する自然遺産やその他の海洋島〔ソコトラ群島、マデイラ諸島ラウリシルヴァ、ガラホナイ国立公園、ヘンダーソン島、ロード・ハウ諸島、ハワイ諸島、ガラパゴス諸島など〕と、植物、陸産貝類、昆虫などで単位面積当たりの種数・固有種率等を比較</li> </ul>

d	完全性
	<p>クライテリア毎に完全性について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内法等に基づき、国立公園、原生自然環境保全地域、森林生態系保護地域等の保護区の指定、天然記念物や国内希少野生動植物種など種指定されており、長期的に適切な保護を受けていること、管理計画などの効果的な管理システムを有していることを説明。</li> <li>・ 登録推薦予定地域には、上述の顕著で普遍的な価値を構成する要素のすべてが、また価値を維持するのに十分な範囲が包含されていることを説明。（バッファを線引きしない理由について説明する）</li> </ul>
4.	保全状況と影響要因
a	現在の保全状況
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 希少植物、希少動物（オオコウモリ、アカガシラカラスバト等）、陸産貝類、昆虫類等の固有種の生息状況と保全対策等</li> </ul>
b	影響要因
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推薦地周辺の主な開発計画や観光利用について、環境配慮事項や自主ルールを含めて記載。外来生物の現状とこれまでの対策状況とその成果について記載。気候変動・自然災害とその対策について記載。</li> </ul>
5.	保護管理
a	所有権
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区分と所有者住所リスト</li> </ul>
b	法的地位
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国立公園、原生自然環境保全地域、森林生態系保護地域などの保護区、指定年、根拠法、地図等</li> </ul>
c	保護措置と実施方法
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国立公園、原生自然環境保全地域、森林生態系保護地域などの概要</li> </ul>
d	推薦地に関連する計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小笠原国立公園計画、小笠原国立公園管理計画、小笠原諸島森林生態系保護地域保全管理計画、小笠原諸島振興開発基本方針、小笠原諸島振興開発計画など、これらの責任機関、計画の要約</li> </ul>
e	遺産地域の管理計画またはその他の管理システム
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理計画（長期計画）および生態系保全のアクションプラン（主に外来種対策についての短期計画）の概要とポイントを説明。 （管理計画）島ごとの外来種対策、外来生物の新たな侵入予防措置等の基本方針を記載。推薦地の外側を含めて対象とする。外来種対策は、島間の関係、種間相互作用を踏まえ、知見を積み重ねながら順応的に実施する旨 （アクションプラン）種間相互作用を図示するとともに、外来種対策について3 - 5年の目標を設定。</li> <li>・ 順応的管理の仕組みとして、科学委員会および地域連絡会議について位置づけ</li> <li>・ 関係する機関の役割分担について記載</li> </ul>
f	資金源と額
	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関毎の資金源、予算額等</li> </ul>
g	保全管理措置の専門性、研修の供給源
	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関毎の管理体制と、関係機関それぞれが設置する検討会等の概要</li> </ul>
h	ビジター施設と利用状況
	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去数年の観光統計、現地のビジター施設のリスト 等</li> </ul>
i	公開・普及啓発に関する方針と計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>小笠原を紹介するパンフレットや情報ソース、観光推進計画などを紹介</li> </ul>
j	職員数
	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境省、林野庁、東京都、小笠原村の担当スタッフ数 等</li> </ul>
6.	モニタリング
a	保全状況の主要指標
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生物種数、主要な種の生息数等の遺産の価値を維持していることの証明となる指標、モニタリングの周期 等 （ex. 陸産貝類の生息状況、トンボ類生息域の拡大・縮小の状況等）</li> </ul>
b	モニタリングのための行政措置
	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記モニタリングの担当する機関リスト</li> </ul>
c	前回の調査結果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>推薦地の自然環境や文化等に関する最近の研究・資料リストと要約</li> </ul>
7.	記録
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真、スライド、あれば映画 / ビデオ等</li> <li>・ 最新の記録の形式と日付、参考文献等</li> </ul>
8.	管理当局の連絡先
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推薦書作成者、公式現地管理当局、その他の現地管理者リスト</li> <li>・ 公式ホームページアドレス</li> </ul>
9.	国の代表のサイン

科学委員会での検討項目

今回科学委員会での検討項目

